

139 コサメビタキ

(スズメ目)

兵庫県ランク:C

Muscicapa dauurica

繁殖個体群:C 越冬個体群:無 通過個体群:C

環境省ランク:指定なし

種の概要

北海道、本州、四国、九州では夏鳥。兵庫県では主に4-10月に見られる。平地から低山の明るい林に生息し、大木の横枝にコケやクモ類の糸を利用して皿形の巣を造る。見通しの良い木の枝に止まって、飛んでいる昆虫類をフライングキャッチして食べる。



写真提供: 松重和太

国内分布

北海道、南千島、本州、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、伊豆諸島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、(尼崎市)、明石市、西宮市、洲本市、伊丹市、相生市、豊岡市、加古川市、赤穂市、(宝塚市)、三木市、(川西市)、三田市、篠山市、養父市、丹波市、南あわじ市、朝来市、淡路市、宍粟市、(たつの市)、(猪名川町)、多可町、稲美町、(播磨町)、神河町、(上郡町)、香美町 ※県内繁殖有



主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

要注目からCランクに変更。
県内の広い範囲で観察記録があるが、公表されている繁殖地は少なく、減少傾向にあるとされる。

保護上の留意点

繁殖環境である平地から低山の落葉広葉樹林が開発や植林で失われたことが減少要因とされる。本種の保護のためには、平地から低山に残存する落葉広葉樹林の保全に加え、落葉広葉樹林の再生が重要。